



2008年4月21日

2 0 0 8 年 6 月 期
第3四半期(3Q)
決算補足資料

株式会社 構造計画研究所

【本資料についての注意】

本資料に記載されている業績予想等は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因によりこれらの予想数値と異なる場合があります。

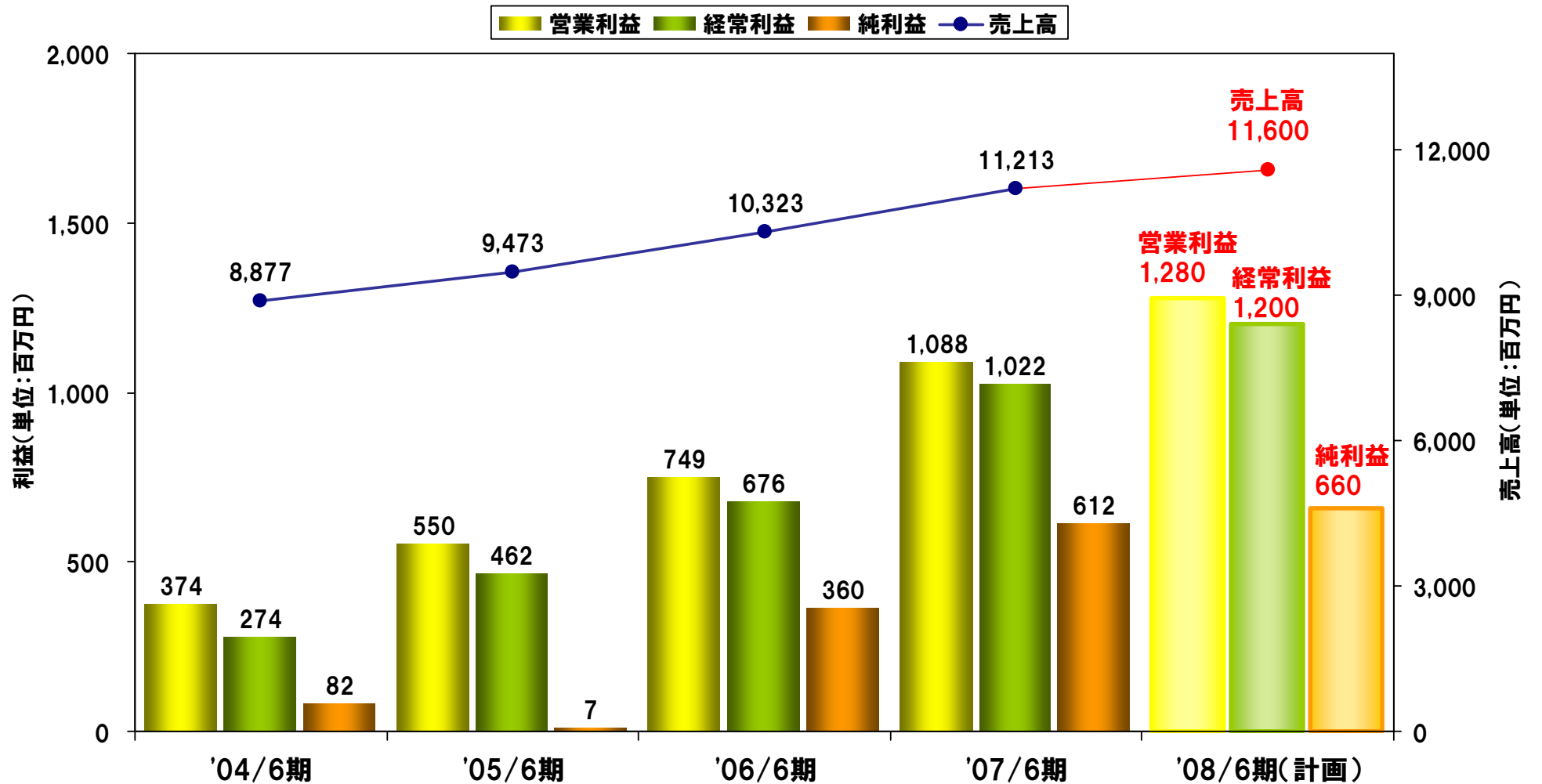
アジェンダ

1. 第3四半期業績について.....	2
2. 財務諸表.....	8
3. セグメント別状況.....	12

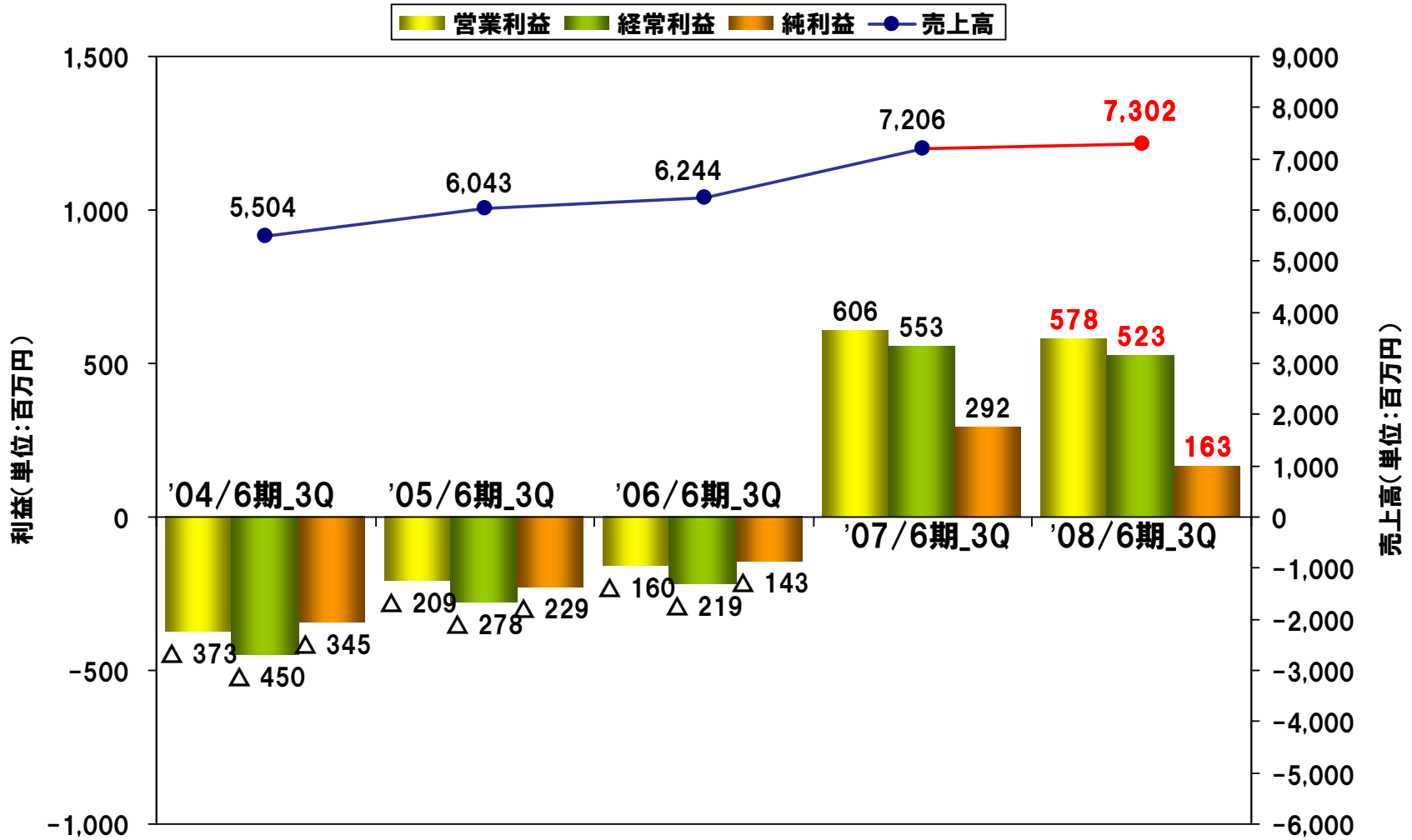
(注) 本資料の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております

1. 第3四半期業績について

通期の業績推移



第3四半期の業績推移



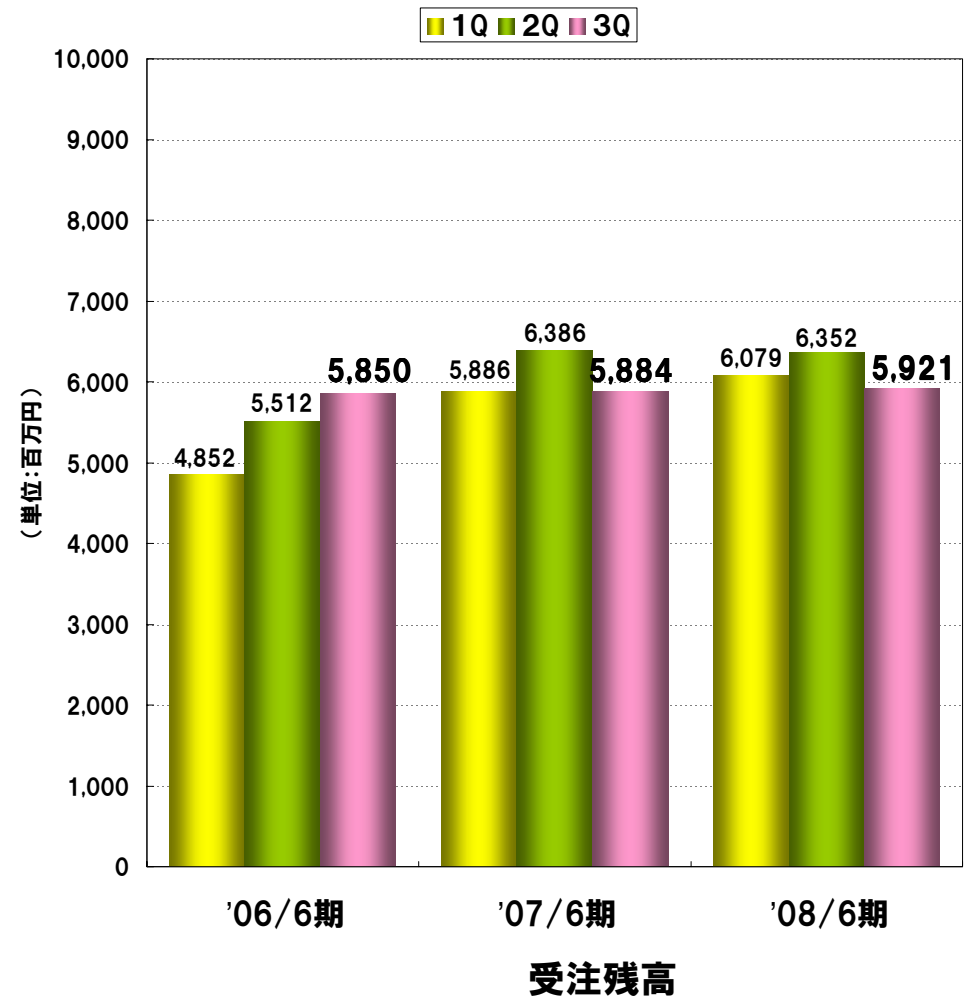
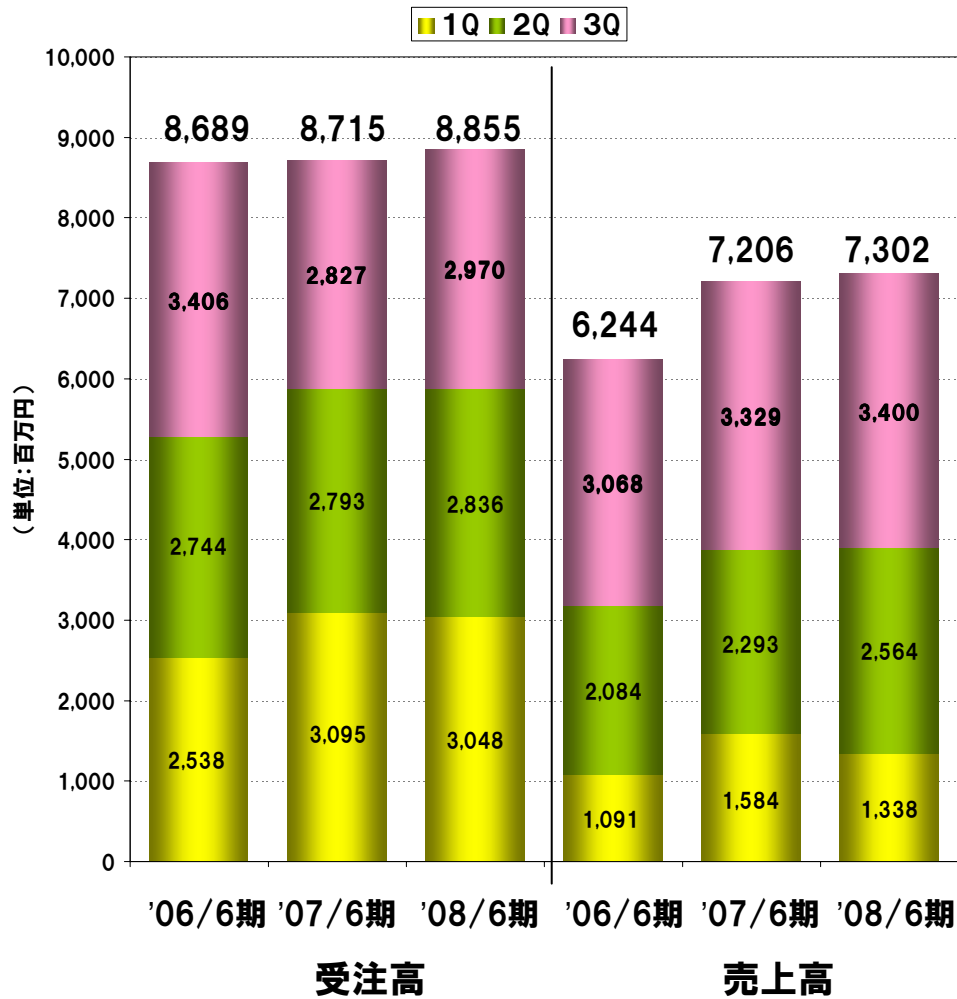
決算ハイライト

単位:百万円

	'07/06期 3Q	'08/06期 3Q	増減額	増減率
受注高	8,715	8,855	139	1.60%
売上高	7,206	7,302	96	1.33%
営業利益	606	578	△28	△4.66%
経常利益	553	523	△30	△5.53%
純利益	292	163	△128	△44.14%

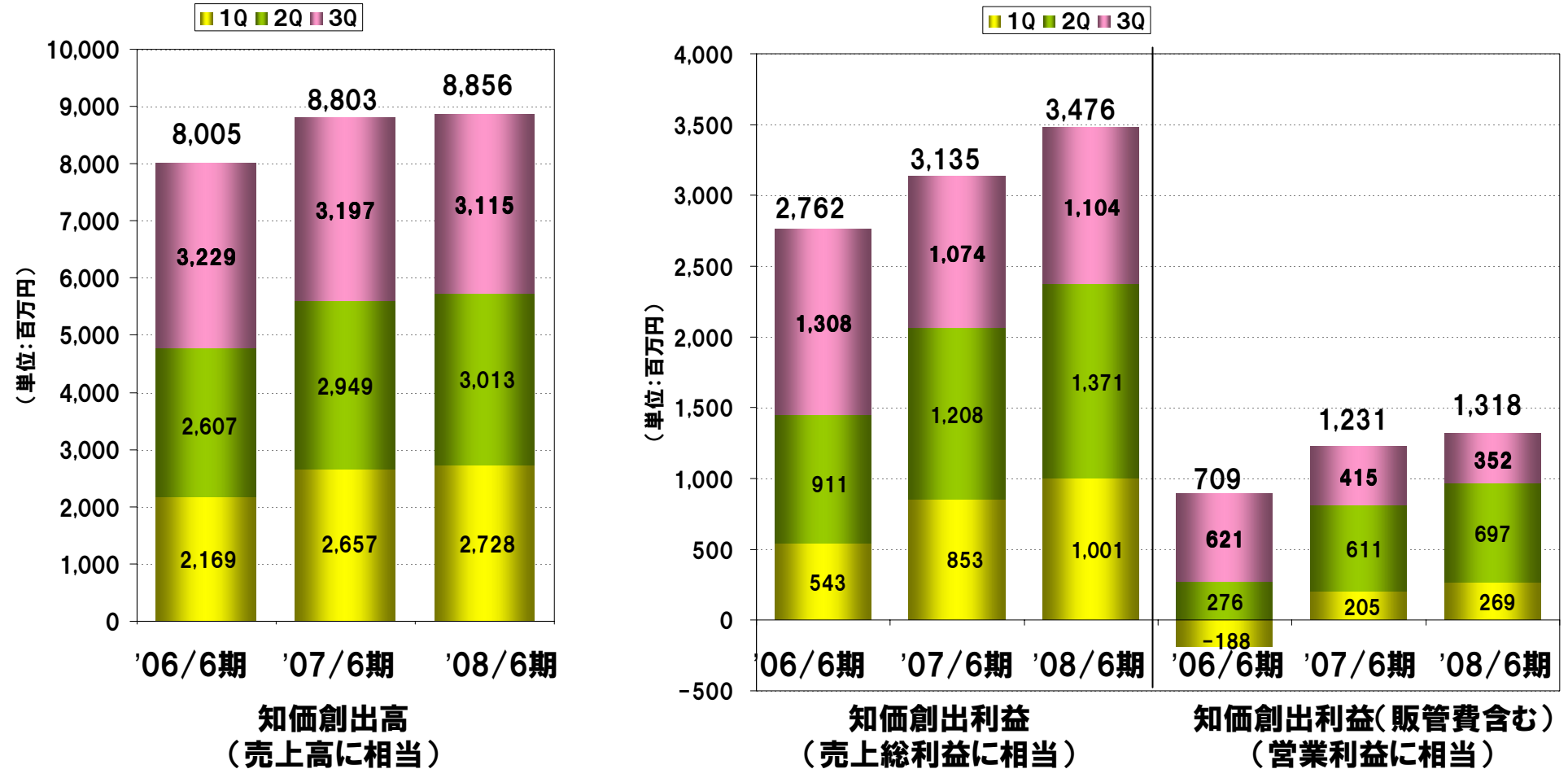
- 中間期に引き続き、受注高、売上高は順調に推移
- 営業利益、経常利益は、販売管理費の増加により若干減少したが、黒字基調は継続
- 純利益の減少は、再委託先の耐震偽装関連の特別損失計上の影響

受注高・売上高・受注残高の推移



知価創出高・知価創出利益の推移

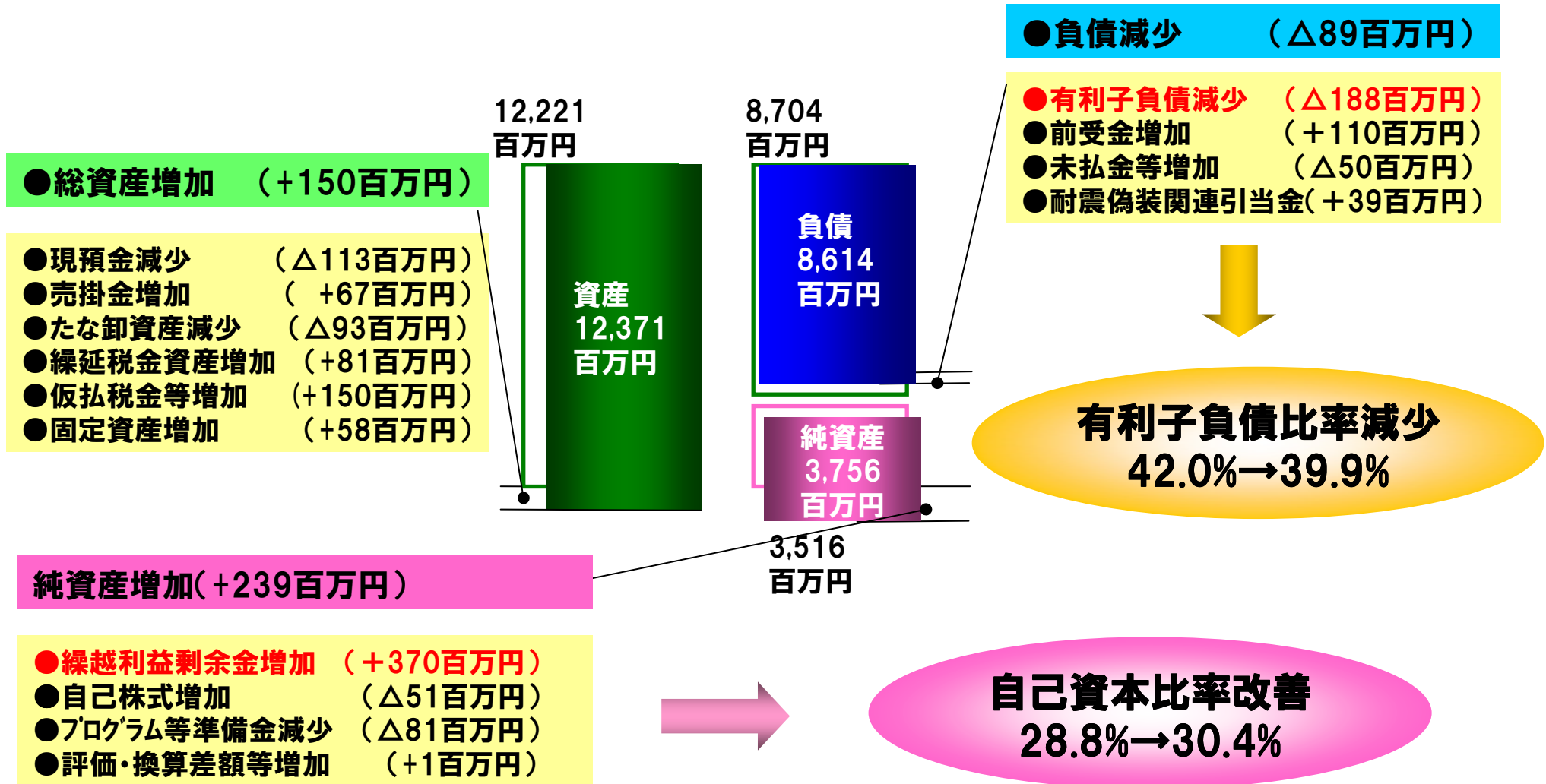
当社ではソフトウェアの開発など、受注から売上までの期間が長いプロジェクトがあるため、進捗度合いを金額換算した業績管理・予測・レビューのための内部指標である工事進行基準を開示しております。



※現時点における知価創出利益予測は、計画人件費を基に算出しておりますが、当社では当年度業績連動の賃金制度を導入しているため、年度末においては人件費が変動することにより利益が変動する可能性があります。

2. 財務諸表

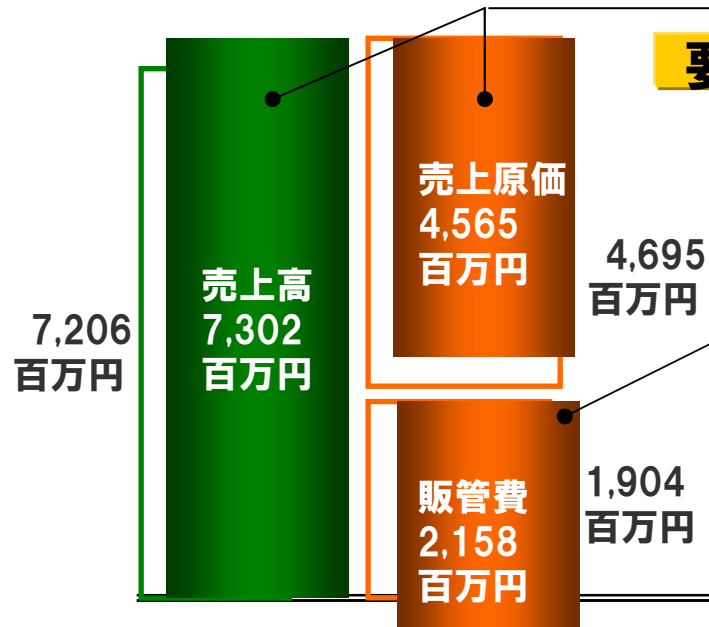
B/S 有利子負債比率、自己資本比率 改善



P/L 売上総利益率 改善

●売上高増加(+96百万円)×売上総利益率改善(+2.7%)

⇒ 売上総利益は226百万円改善



要因

プロジェクトの採算性向上

●営業・企画部門強化(人員増等)により

販売管理費増加 +254百万円

人員増減 原価部門 △6人 ⇒ 営業・企画部門 +18人

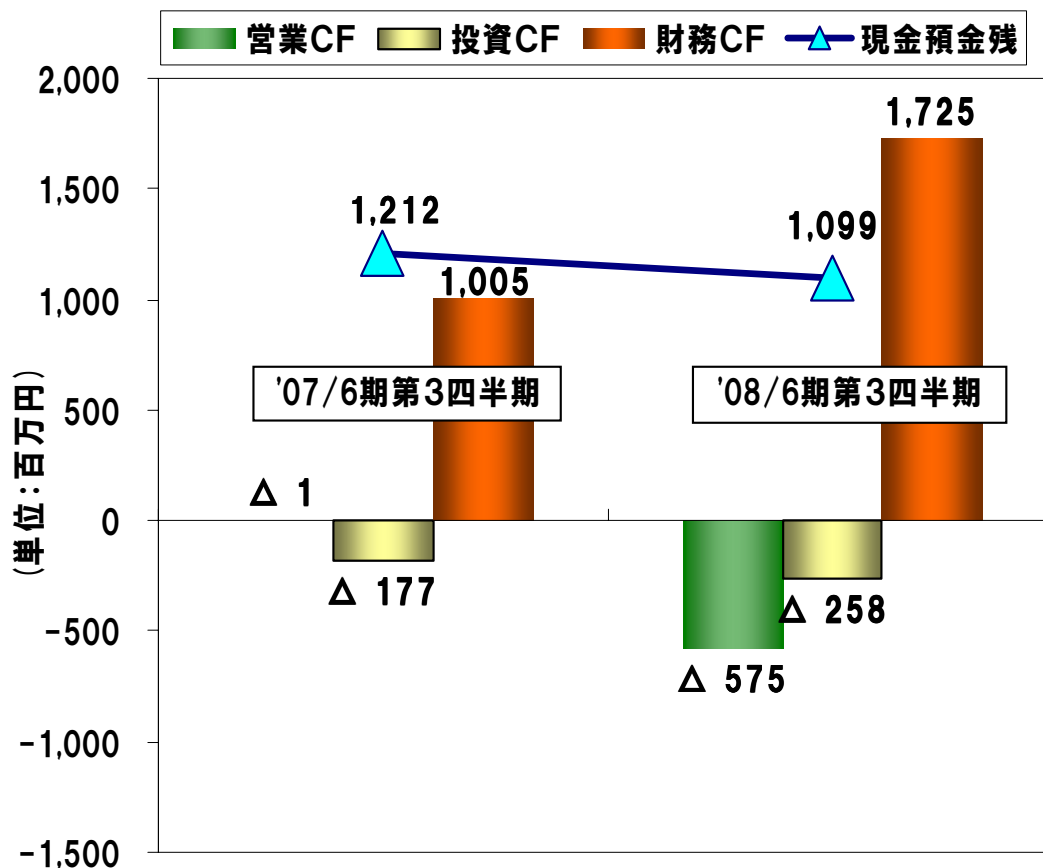
営業利益、経常利益は若干減少したが、
前年同期に引き続き黒字基調を継続

営業利益 578百万円、経常利益 523百万円

●耐震偽装関連費用および引当金繰入額 合計219百万円

※平成19年10月に発覚した構造設計業務における再委託先の
耐震偽装問題に関連する対応費用および今後の発生見込額

CF 営業キャッシュフロー支出増大



主な内訳

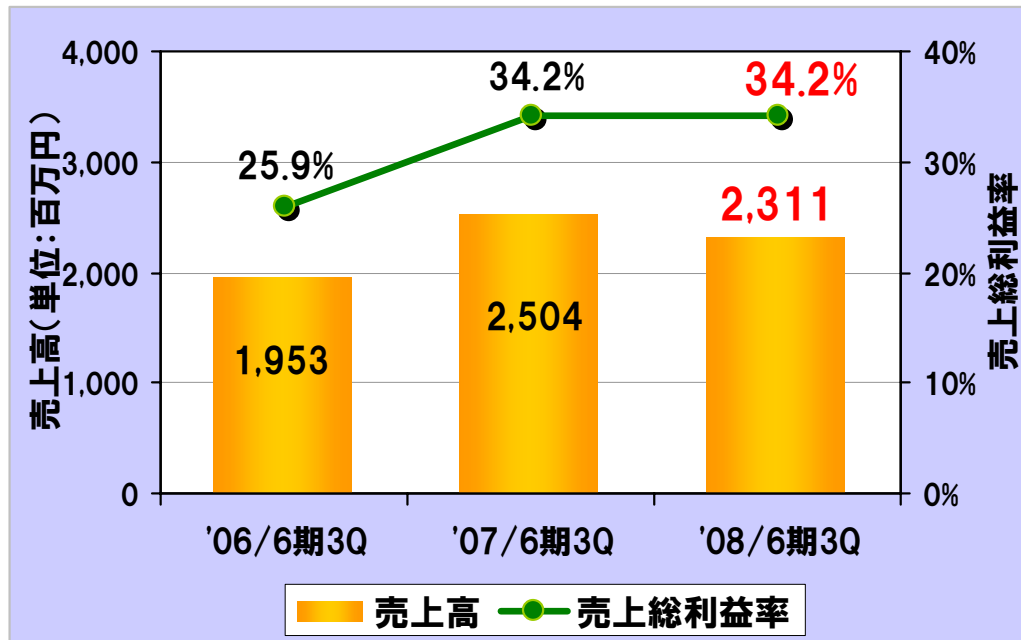
- **営業CF: △575百万円** **前年同期比△573百万円**
 - ・税引前四半期純利益 296百万円
(前年同期比 △ 255百万円)
 - ・減価償却費 212百万円
 - ・売上債権の減少 694百万円
 - ・たな卸資産の増加 △ 779百万円
 - ・未払費用の減少 △ 622百万円
 - ・その他 277百万円
 - ・法人税等の支払 △ 651百万円
- **投資CF: △ 258百万円** **前年同期比△80百万円**
 - ・投資有価証券取得 △ 79百万円
 - ・固定資産の取得等 △ 179百万円
- **財務CF: 1,725百万円** **前年同期比+720百万円**
 - ・借入金の純増 1,951百万円
 - ・配当金の支払 △ 177百万円
 - ・自己株式取得・処分 △ 49百万円

3. セグメント別状況

セグメント① エンジニアリングコンサルティング

単位:百万円

	'06/6期3Q	'07/6期3Q	'08/6期3Q	増減率
受注高	2,977	2,830	2,913	2.9%
売上高	1,953	2,504	2,311	△7.7%
売上原価	1,447	1,647	1,521	△7.7%
売上総利益 (利益率)	506 (25.9%)	856 (34.2%)	789 (34.2%)	△8.3%



- ❖ 防災・耐震・数値解析
- ❖ 建築構造設計
- ❖ マーケティング・意思決定支援コンサル
- ❖ 製造・物流系シミュレーション
- ❖ ソフトウェア開発の要求定義・基本検討

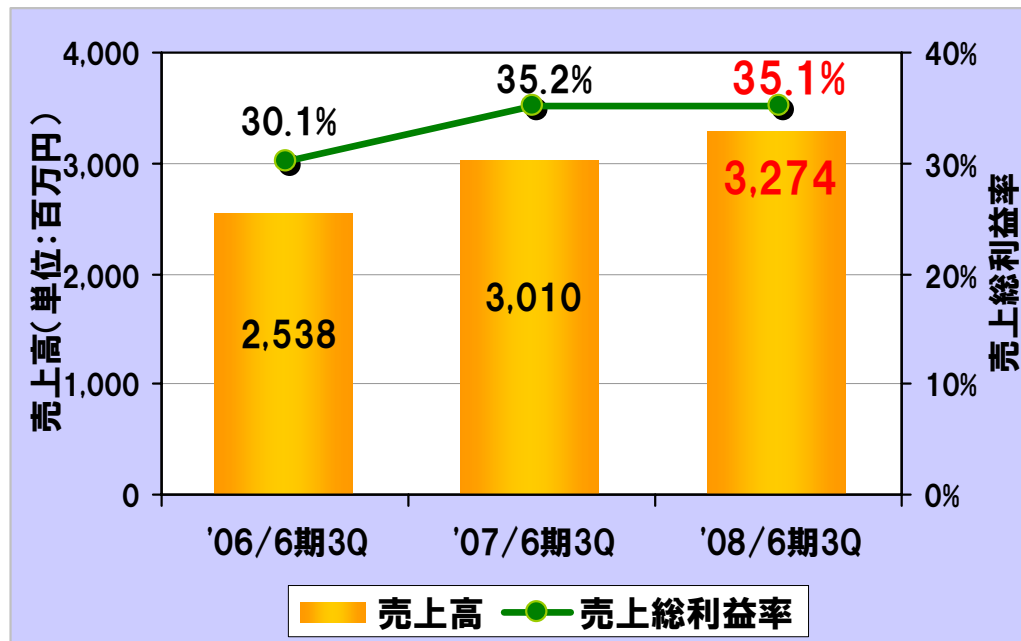
➤ 受注微増、売上減少、売上総利益率横ばい

- 再委託先の耐震偽装問題の影響により、構造設計業務の売上高、利益が一時的に減少したが、新規受注は回復
- 通信関連の研究機関向けの研究試作業務、エネルギー関連施設の解析コンサルティング業務は引き続き好調

セグメント② システムソリューション

単位:百万円

	'06/6期3Q	'07/6期3Q	'08/6期3Q	増減率
受注高	3,869	4,151	4,066	△2.0%
売上高	2,538	3,010	3,274	8.8%
売上原価	1,775	1,951	2,125	8.9%
売上総利益 (利益率)	763 (30.1%)	1,058 (35.2%)	1,148 (35.1%)	8.5%



- ❖ 移動通信・モバイル・ネットワーク通信システム
- ❖ 製造業向け営業・設計支援システム
- ❖ マルチメディアソリューション
- ❖ 構造設計支援システム

➤ 受注横ばい、売上増加、売上総利益率横ばい

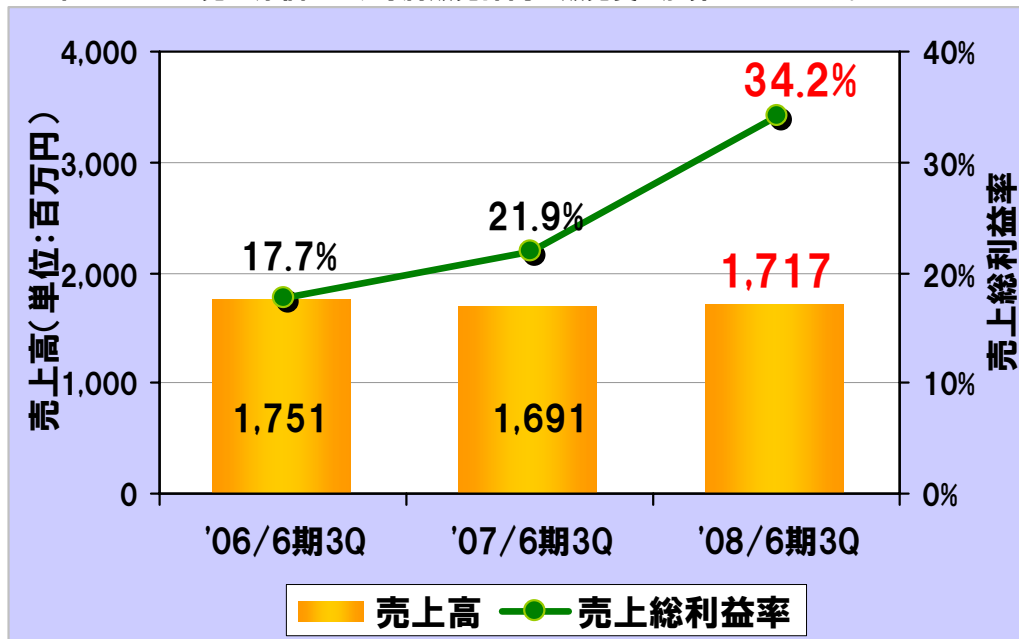
- 情報通信業(通信キャリア)顧客のプロジェクトが引き続き好調
- 製造業向け営業・設計支援システムの大型プロジェクトが納品、検収に至る
- 建築基準法改正に対応する構造設計支援システムの改定プロジェクトが増加

セグメント③ プロダクツサービス

単位:百万円

	'06/6期3Q	'07/6期3Q	'08/6期3Q	増減率
受注高	1,842	1,734	1,875	8.1%
売上高	1,751	1,691	1,717	1.5%
売上原価	1,442	1,321	1,130	△ 14.5%
売上総利益 (利益率)	309 (17.7%)	370 (21.9%)	587 (34.2%)	58.6%

※当セグメントの売上原価には、専属販売部門の販売費を加算しております。



- ❖ 設計者向けCAEソフト
- ❖ 構造解析・耐震検討パッケージソフト
- ❖ マーケティング・意思決定支援ソフト
- ❖ 通信業向けシミュレーションソフト

➤ 受注増加、売上微増、売上総利益率大幅増

- 特に、製造業の設計者向けCAEソフト、不動産分析ソフトが好調
- 採算性の低いビジネスからの撤退が前期に完了